株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日（※当事業年度の中間配当の予定はございません）
公告の方法	日本経済新聞に掲載
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号　三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒530-0004　大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
（お問い合わせ先）	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 電話　0120-094-777（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社　全国本支店　野村證券株式会社　全国本支店 ※株式関係のお手続き用紙のご請求は、 次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。 電話（通話料無料） 0120-244-479（本店証券代行部） 0120-684-479（大阪証券代行部） ホームページアドレス　http://www.tr.mufg.jp/daikou/

FUJI PREAM
フジプレアム株式会社
〒671-2216 兵庫県姫路市飾西38-1 TEL.079-266-6161　FAX.079-266-6738

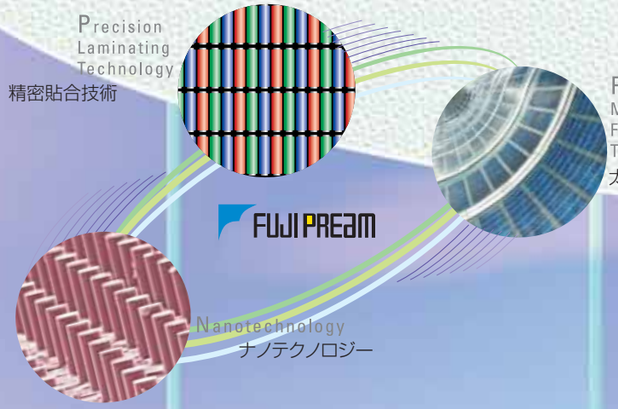
FUJI PREAM

第26期中間年次報告書

プレ PRE

フジプレアムと社会を結ぶ情報誌

vol.12
2007/12



フジプレアムは、3つのコア技術で時代を拓きます。

フジプレアムは、研究開発型企業として3つのコア技術を基本に、時代と顧客のニーズに的確に応え、人々の豊かな暮らしに貢献することを目指しています。日々急速な進歩を遂げるディスプレイデバイスの世界、持続可能な社会づくりに寄与するためのエコエネルギー市場、これからの未来を支えるナノテクノロジー市場において、さらなる技術の向上と、新たな技術の取得に努めています。

最先端テクノロジーで、ディスプレイデバイス業界を牽引

PDP用光学フィルター、ダイレクトフィルター、液晶偏光板フィルムの製造・販売

独自の技術で、環境保護とエコエネルギーの普及に貢献

採光型太陽電池モジュール、太陽光発電関連商品の製造・販売

時代の基幹技術「ナノテクノロジー」を、産学官で共同研究

放射光による超微細加工技術の研究

株主、投資家の皆様へ

株主の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、当社グループの事業につきまして格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第26期（平成20年3月期）中間年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当事業年度中間期の業績は、主力事業であるフラットパネルディスプレイ（FPD）部門、特にPDP用光学フィルターの出荷台数が過去最高を記録する等、市場の拡大を顕著に反映し、当初の計画をやや上回る順調な結果となりました。市場全体に広がる価格競争の波の厳しさは、当然、当社に対しても同じでありながらも、自動化や合理化の推進と当社が関わるFPD関連商品の幅の拡大等でその存在感を向上させております。ただし、将来の新たな軸となる事業として期待のかかるクリーン・エコエネルギー部門については、今年2月に本格稼動をスタートさせたPV工場で、自社ブランド製品の出荷がいよいよ始まります。オリジナル製品の開発、販売については、その研究開発をさらに推し進めており、高まる新エネルギーへの世界的な期待を担う立場を急速に確立することに全力をかけて目指しております。

当社グループは、「ものづくり」を中心とした企業であると同時に、研究開発型企業でもあります。創業以来、磨きをかけてきたものづくりの「技」を新たな分野で活かすには、日々の研究開発が不可欠です。今あるフジプレアムの姿は、遠い将来から見ればまだまだ一里塚にすぎないと、常に前を見据え邁進しております。

株主、投資家の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長
松本實藏

Core technology of Fujipream

特集：フジプレアムのコア技術「精密貼合技術」とは

フジプレアムの技術は暮らしの身近なところで活躍しています。

当社では、プラズマディスプレイパネルの画像を
美しく、安全に見るために欠かせない光学フィルターの製造・販売を主力に、
太陽電池モジュール関連、ナノテクノロジー等、様々な方面へと業容を拡大しています。
当社の技術が、どんなところに使われているのか、普段の暮らしの中で気がつくことは少ないでしょう。
しかし、実は携帯電話やノートパソコン、カーナビ、薄型テレビ等、
ごく身近なところで活躍しているのです。
「PRE」Vol.12の特集ではフジプレアムのコア技術のひとつである
「精密貼合技術」をご紹介していきます。

フジプレアムのコアビジネスを教えてください。

光学フィルター分野で、当社は圧倒的なシェアを獲得。独自技術が成長の原動力となっています。

プラズマテレビの画像を美しく、安全に見るために欠かせないもののひとつに、光学フィルターと呼ばれるものがあります。様々な機能を持ったフィルムを貼り合わせて製造します。この光学フィルター分野で、当社は圧倒的なシェアを獲得しています。光学フィルターは、ディスプレイの品質を左右する、たいへん重要な役割を担っており、製造工程では当社が研究開発した独自の技術が生かされています。永年にわたる研究、改良を積み重ねて蓄積してきた技術力が強みとなり、当社の成長の原動力となっています。

今回の特集では、
市場開拓営業部　森田晃史部長
にお話を伺います。

光学フィルターの構成図（例）

独自技術とはどのようなものですか。

当社の『精密貼合技術』は異なる素材を貼り合わせる技術。精度と歩留りの高さが必要とされます。

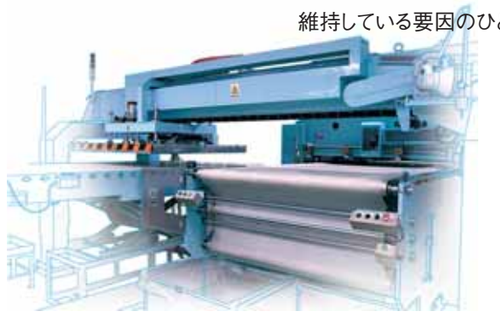
異なる素材同士を貼り合わせる技術です。当社グループの独自の表現ですが、「精密貼合(てんごう)技術」と呼んでいます。プラズマテレビは、一般的には1枚の板ガラスのように見えますが、実は多くの機能を持ったフィルムとガラス、或いはフィルムのみで構成されたフィルターとなっています。フィルムというものは非常に薄く、貼り合わせる際に、空気やホコリが入る、よれる等、扱い方がデリケートです。また、その欠点を素早く見極める必要があります。当社では、当初からその技術の高さにおいて、国内外のメーカーから高い評価と信頼を獲得してまいりました。昨今では、1枚のフィルムの中に多種多様な機能そのものが備えられ、さらに複雑化しています。何枚ものフィルムを貼り合わせていた多層フィルムから、現在の多機能フィルムへ進化しても、貼り合わせの際に発生しやすい不良要因（気泡や異物の混入、キズ等）は絶対に許されないことに変わりありません。複雑で困難なフィルムを貼合するという技術展開の要求に対して、当社はそれを実現しております。こういったことが、当社の高精度、高歩留りを実現する「精密貼合技術」が求められる理由だといえます。

特集：フジプレアムのコア技術「精密貼合技術」とは

精密貼合技術の中で、最も難しい点は何でしょうか。

異物が混入しないようなクリーンな環境を作っておくことは最低条件。フィルムそのものを検査する高い能力が必要となります。

フィルムを貼る位置がずれてしまったり、よれたりしては、当然いけませんが、フィルムとフィルムを貼り合わせる工程よりも前の、準備工程が重要となってきます。どんな微細な異物も気泡も入ってはいけません。また、もともと傷がついたフィルムを貼り合わせてしまってもいけませんので、それらを検査、選別することが難しい点です。異物が混入しないようなクリーンな環境を作っておくことは最低条件ですが、フィルムそのものを検査する高い能力が必要となります。この分野では、当社が永年の経験の中で蓄積してきたノウハウを持っていることが強みとなっています。ディスプレイのほか、携帯電話やノートパソコン、カーナビ等のデジタル製品の表示画面にも様々な光学フィルターが採用され、当社の技術が生かされています。最近では、テレビはますます薄型、大型化しています。薄くなればなるほど、そして画面が大きくなればなるほど、貼合は難しくなります。



高いシェアを維持する秘訣はどのような点にありますか。

製造機械を自社で製造。最先端の技術革新に対応しています。

貼り合わせるフィルムは様々です。ディスプレイの種類や大きさ、価格によって多種多様な組み合わせになります。貼り合わせるための粘着剤等も複雑に変わります。当社では、どのようなフィルムでも貼合できる体制を整えています。当社には、メカテック事業部という産業機械システムを開発・製造・販売する事業部があります。主に、食品業界や医薬品業界向けに、自動包装機械システム等を販売しています。このメカテック事業部では、フジプレアムの光学フィルターの製造工程で使用する製造機械も製造しています。貼合するフィルムの種類が多岐にわたりますので、使用するフィルム等、材料の変更の度に製造機械の仕様も社内で迅速に対応することが可能です。ディスプレイ業界の技術革新は著しく進化しています。最先端のスピードに対応できることが、当社が圧倒的なシェアを維持している要因のひとつだと思います。

今後、どのような分野に展開できる可能性がありますか。

有機EL等の新型ディスプレイのほかにも、精密貼合技術を活用できる分野は、まだ開拓の余地が大きいと思います。

現在は加工要素が非常に高いプラズマテレビ向けが主力となっています。最近では、有機EL等の新型ディスプレイの発売に注目が集まっています。貼り合わせるフィルムの性能は高くなっていきますが、それらを検査して、貼合するという当社の独自技術が生かせるフィールドは変わりません。また、ディスプレイだけにとどまらず、窓ガラスの表面に特殊フィルムを貼りつけることで室内の断熱性や遮音効果を高めたり、防災、防犯、省エネ分野に幅広く活用されています。精密貼合技術を生かせる分野は、まだ開拓の余地が大きいと考えています。現在、私が所属している市場開拓営業部は、当社の技術を応用、活用できる場面を創造する部署です。今後も、精密貼合技術の活躍の場を開拓して参ります。

TOPICS：トピックス

TOPICS：1

第2回新エネルギー世界展示会に出展いたしました。

【開催日】平成19年10月10日(水)～12日(金)
【会場】幕張メッセ国際会議場及び国際展示場
(千葉県千葉市)

新エネルギー・再生エネルギーの最新技術と新製品を紹介する「第2回新エネルギー世界展示会」(主催：再生可能エネルギー協議会)に出展いたしました。温室効果ガスの排出削減が世界の最重要課題の一つに位置づけられていることもあり、同展への関心は昨年以上に高く、午前10時の開場とともに企業や大学、自治体関係者らが次々に入場、各ブースで最新エネルギー技術等の説明に聞き入っていました。3日間合計の来場者数は16,390名。フジプレアム（株）、フジサンエナジー（株）、フジプレアム商事（株）はグループ一丸となって次代の柱である太陽電池事業についてアピールし、国内外の企業から注目が集まりました。

TOPICS：2

証券会社、証券アナリスト向け中間決算説明会を開催いたします。

【日時】平成19年12月17日（月）13:00～14:30
【場所】野村證券本社ビル6F

証券会社、証券アナリストの方々にお集まりいただき「平成20年3月期中間決算発表説明会」を開催いたします。当日は、当社役員から平成20年3月期中間決算の概況をご報告した後、平成20年3月期の通期業績計画をご説明する予定です。

TOPICS：3

ユニセフ（国際児童基金）募金活動をスタート。

【募金の方法】各事業部、子会社単位（計8グループ）で毎月3,000円を募金します
【募金活動でできる支援例】予防接種や文房具、防寒用毛布、貯水容器等

平成19年11月から、ユニセフ(国際児童基金)への募金活動をスタートしました。ユニセフとは、世界の子供たちの生存・発達・保護・参加の権利を実現するために活動している国連機関です。当グループはその活動に賛同し、社会貢献活動の一環として支援を開始します。ひとりでは世界の重大な問題に関わる事は難しいですが、グループ一丸となって支援の輪を大きく広げていきます。ユニセフへの協力には様々な方法がありますが、フジプレアムグループでは上記の方法で協力していきます。

TOPICS：4

内部統制構築プロジェクトを発足しました。

平成20年4月以降に開始される決算期において、上場企業は「内部統制がとれる体制の構築」が義務付けられました。これを受けて、平成19年6月に内部統制構築プロジェクトを発足いたしました。プロジェクトのメンバーは、経営企画課、管理課、経理課、ファインテック事業部、アドヴァンテック事業部およびフジサンエナジー（株）のスタッフが中心となっています。役員をはじめ従業員一人一人が、責任を持って確実に業務を遂行する体制の構築に取組んでいます。引き続き内部統制の充実を図り、フジプレアムグループの企業価値をこれまで以上に向上させてまいります。

気温がぐっと下がって冷え込む季節。あたたかい温泉が恋しくなります。播磨周辺には、古くから湯治場として栄えたという良質の温泉があります。日常の喧噪から離れて、いいお湯にゆったりとつかり、心身ともにリフレッシュしませんか。

播磨探訪：VOL.10「温泉」を楽しむ

フジプレアムが選ぶ

1 塩田温泉

湯歴300年。古くから湯治場として栄えていた由緒ある温泉です。

塩田温泉が発見されたのは奈良時代といわれています。効能に優れ、江戸時代から湯治場として栄えていたという文献が残っています。雪彦(せっぴこ)山を望む、夢前川のほとりに沸く温泉郷。周囲にはのどかな田園風景が広がります。泉質は炭酸重曹弱食塩泉でさらりとした湯ざわりが特徴です。

【所在地】兵庫県姫路市夢前町塩田
【アクセス】車で中国自動車道・福崎ICから県道三木山崎線経由で約15分
JR姫路駅から神姫バスで35分、バス停「塩田」もしくは「夢乃井」下車
【お問合せ】姫路観光なびポート079-287-3658

2 赤穂御崎(みさき)温泉

瀬戸内海を望む景観美しい人気の温泉。別名は「よみがえりの湯」

“塩のまち”にふさわしく、食塩などのミネラル成分を多く含む無色透明の食塩泉。なめらかな肌触りと保温効果の高さが特色です。温泉の三要素「温度・成分・湯量」を十分に兼ね備えています。効用は神経痛や筋肉痛、関節痛など多様で、その優れた泉質から別名「よみがえりの湯」とも呼ばれています。また、赤穂御崎は「日本の夕陽百選」に選ばれています。露天風呂につかりながら眺める、美しい夕陽は格別です。

【アクセス】ＪＲ赤穂線播州赤穂駅下車、ウエスト神姫バス「保養センター行き」で約15分、停車バス停は施設により異なる。祥吉、銀波荘、対鴎館、呑海楼は「御崎」下車、かんぽの宿赤穂は「保養センター」下車、赤穂パークホテル、鹿久居荘は「明神木」下車など。
【お問合せ】赤穂観光協会0791-42-2602

3 しそうよい温泉

播磨の秘湯、天然ラドン温泉掛け流しの湯

播磨の山深いところ、宍粟(しそう)市与位(よい)にある、天然ラドン温泉掛け流しの温泉です。播磨の秘湯とうわさされています。泉質は高血圧や痛風によいとされる単純弱放射能低温泉(ラドン温泉)。自然に囲まれ四季を楽しむことができます。

【所在地】兵庫県宍粟市山崎与位66-3
【アクセス】車で中国自動車道山崎ICから国道29号で宍粟市一宮方面へ約15分
【問い合わせ先】0790-63-2615

かさがた温泉

山あいに囲まれた天然温泉は美人の湯

このスポットにも注目！

笠形山(標高933m)の麓に沸き出る天然温泉。天然岩を配した情緒あふれる本館「ふところ館」と高台の開放感あふれる新館「みはらし館」。趣の異なる2種の温泉館があります。どちらも泉質はアルカリ性単純温泉でお肌がすべすべになる美人の湯といわれています。笠形山の登山口に近く、ハイキングの帰りに立ち寄っていく人も多いようです。

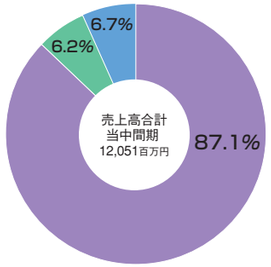
【所在地】兵庫県神崎郡市川町上牛尾半瀬
【アクセス】車で中国自動車道福崎ＩＣから播但自動車道「市川南ランプ」より県道34号線を北上9ｋｍ約20分。
【問い合わせ先】0790-27-1919

事業の状況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、製造業を中心に、企業収益と設備投資の増加に支えられ堅調に推移しております。しかしながら、原油価格の高騰や、米国サブプライムローン問題に端を発した、世界的な金融市場の混乱等、個人消費に対する影響が懸念されております。

このような状況の中、当社グループの主力事業であるフラットパネルディスプレイ関連事業につきましては、価格競争の波は依然として厳しいながらも、以前より取組んでいた生産体制の合理化及び自動化に伴う生産性向上施策による効率化に加え、PDP（プラズマディスプレイパネル）用光学フィルターの出荷台数が過去最高となる等、業績は堅調に推移いたしました。

クリーン・エコエネルギー関連事業につきましては、益々拡大を続ける太陽光発電市場を背景に、シリコン材料の調達や販売網の構築、新設したPV（注1）工場の早期立上げ等、積極的な国際競争力の強化に努めましたが、新設した生産ラインの稼働が遅れたことにより、業績に影響いたしました。前中間連結会計期間に比べ、各部門とも業容や市場動向が激しく変化している中、ほぼ当初計画どおりの業績で推移しております。



セグメント別売上高構成

当中間期
…フラットパネルディスプレイ部門
…クリーン・エコエネルギー部門
…メカテクノロジー・その他部門

注1:
PV（Photovoltaic）「光で発電する」の略称で、太陽光発電を意味しています。

注2:ダイレクトフィルター
電磁波防止、反射防止、色調補正、近赤外線防止等の機能を有するフィルムを、ガラス基板を使用せずに貼り合せたPDP用光学フィルターです。このフィルターは、パネルメーカーにおいてPDPモジュール本体に直に貼って使用されます。

フラットパネルディスプレイ部門

PDP用光学フィルター及びダイレクトフィルター（注2）の製造におきましては、受注量が大幅に増加し、出荷台数は過去最高を記録いたしました。しかしながら、フラットパネルディスプレイ市場全体の価格競争の波は前にも増して厳しく、材料費を中心に単価が下落しております。そこで、当社グループは、以前より市場の拡大に伴う増産体制の構築に取組んで参りましたが、当中間連結会計期間より本格的な稼働を開始し、生産性の向上及び利潤の確保に大きく寄与いたしました。

クリーン・エコエネルギー部門

太陽光発電市場の急速な拡大に伴い、より競争力のある事業展開が不可欠となっており、当社グループでは、不足気味であるシリコンを中心とした太陽電池原材料の安定調達や世界的な販売網の構築、新設PV工場の早期立上げ等に取組みました。また、京都議定書に代表される世界的なクリーン化施策を背景に、太陽光発電に関連した応用商品への研究開発に積極的に取組みました。しかしながら、新工場での自社商品の供給が遅れ、業績に影響いたしました。

メカテクノロジー・その他部門

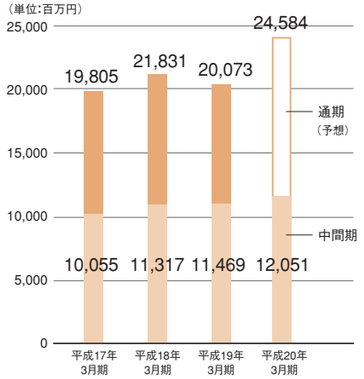
産業用機械・包装機械の製造におきましては、フラットパネルディスプレイ部門を中心とした社内合理化生産設備の構築に注力したことにより、各部門の生産性向上実現に重要な役割を果たしましたが、反面、社外への販売が減少し、業績に影響いたしました。

セグメント別売上高（連結）

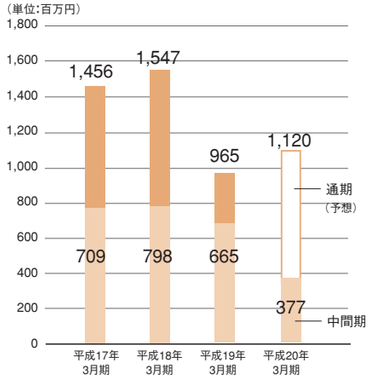
セグメント	第26期（当中間期）		第25期（前中間期）	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
フラットパネルディスプレイ部門	10,497	87.1	9,100	79.3
クリーン・エコエネルギー部門	748	6.2	1,362	11.9
メカテクノロジー・その他部門	806	6.7	1,005	8.8
合　　計	12,051	100.0	11,469	100.0

業績・財務ハイライト

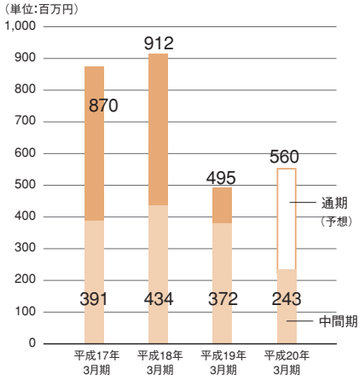
売上高



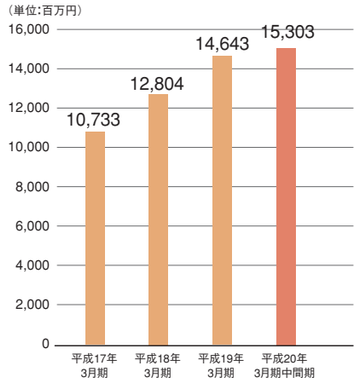
経常利益



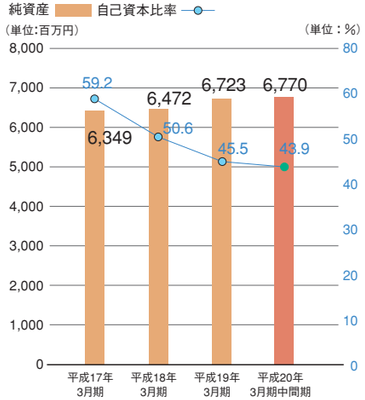
純利益



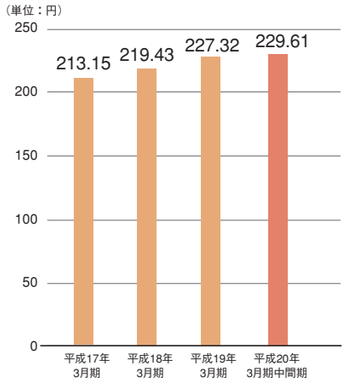
総資産



純資産・自己資本比率



一株当たり純資産



※当社は平成17年12月26日付で、株式1株につき3株の分割を行っております。そのため、平成17年3月期の1株当たりの純資産につきましては、遡及修正を行なった場合の数値を参考に記載しております。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

（単位：千円）

科　目	当中間期（平成19年9月30日現在）	前期（平成19年3月31日現在）
（資産の部）		
流動資産	8,276,471	7,433,857
現金及び預金	3,194,548	3,027,145
受取手形及び売掛金	3,449,527	2,703,153
たな卸資産	1,466,828	1,126,015
その他	165,567	577,542
固定資産	7,026,315	7,208,507
有形固定資産	6,526,998	6,640,666
無形固定資産	5,385	5,632
投資その他の資産	493,932	562,209
繰延資産	733	999
資産合計	15,303,520	14,643,364

（単位：千円）

科　目	当中間期（平成19年9月30日現在）	前期（平成19年3月31日現在）
（負債の部）		
流動負債	6,041,655	5,061,052
支払手形及び買掛金	3,171,050	2,714,643
短期借入金	1,626,256	1,695,800
1年以内返済予定長期借入金	750,000	375,000
未払法人税等	225,316	49,390
賞与引当金	31,107	30,834
その他	237,925	195,383
固定負債	2,491,446	2,859,192
長期借入金	2,291,946	2,629,680
退職給付引当金	1,206	675
その他	198,294	228,836
負債合計	8,533,101	7,920,244
（純資産の部）		
株主資本	6,637,492	6,614,567
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	2,759,411	2,691,507
自己株式	△ 562,729	△ 517,751
評価・換算差額等	74,005	51,988
少数株主持分	58,920	56,563
純資産合計	6,770,418	6,723,119
負債純資産合計	15,303,520	14,643,364

中間連結損益計算書

（単位：千円）

科　目	当中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）	前中間期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）
売上高	12,051,957	11,469,200
売上原価	11,065,245	10,258,272
販売費及び一般管理費	656,323	618,761
営業利益	330,388	592,165
営業外収益	78,192	99,879
営業外費用	31,121	26,129
経常利益	377,459	665,915
特別利益	120,000	—
特別損失	—	22,464
税金等調整前中間純利益	497,459	643,451
法人税、住民税及び事業税	235,640	269,100
法人税等調整額	15,594	△7,379
少数株主利益	2,357	9,053
中間純利益	243,866	372,677

中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

科　目	当中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）	前中間期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）
営業活動によるキャッシュ・フロー	414,017	241,499
投資活動によるキャッシュ・フロー	48,900	△ 1,019,943
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 306,218	841,802
現金及び現金同等物に係る為替差額	10,704	△ 5,217
現金及び現金同等物の増加額	167,403	58,140
現金及び現金同等物の期首残高	2,977,145	3,618,486
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高	—	28,621
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,144,548	3,705,248

中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）

（単位：千円）

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	2,000,007	2,440,803	2,691,507	△ 517,751	6,614,567	901	51,086	51,988	56,563	6,723,119
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△ 175,962	—	△ 175,962	—	—	—	—	△ 175,962
中間純利益	—	—	243,866	—	243,866	—	—	—	—	243,866
自己株式の取得	—	—	—	△ 44,978	△ 44,978	—	—	—	—	△ 44,978
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額（純額）	—	—	—	—	—	△ 1,036	23,052	22,016	2,357	24,373
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	67,904	△ 44,978	22,925	△ 1,036	23,052	22,016	2,357	47,298
平成19年9月30日残高	2,000,007	2,440,803	2,759,411	△ 562,729	6,637,492	△ 134	74,139	74,005	58,920	6,770,418

中間個別財務諸表

中間貸借対照表

（単位：千円）

科　目	当中間期（平成19年9月30日現在）	前期（平成19年3月31日現在）
（資産の部）		
流動資産	6,253,286	5,001,178
当座資産	5,138,286	3,526,028
たな卸資産	970,009	809,472
その他	144,990	665,677
固定資産	7,048,684	7,208,420
有形固定資産	6,243,906	6,338,848
無形固定資産	4,409	4,736
投資その他資産	800,368	864,835
繰延資産	733	999
資産合計	13,302,703	12,210,598
（負債の部）		
流動負債	4,643,514	3,248,138
支払手形及び買掛金	2,167,906	1,377,445
短期借入金	1,400,000	1,400,000
その他	1,075,607	470,693
固定負債	2,250,000	2,625,000
長期借入金	2,250,000	2,625,000
負債合計	6,893,514	5,873,138
（純資産の部）		
株主資本	6,409,323	6,336,557
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	2,531,242	2,413,497
自己株式	△ 562,729	△ 517,751
評価・換算差額等	△ 134	901
純資産合計	6,409,189	6,337,459
負債純資産合計	13,302,703	12,210,598

中間損益計算書

（単位：千円）

科　目	当中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）	前中間期（平成18年4月1日から平成18年9月30日まで）
売上高	10,384,037	8,636,762
売上原価	9,613,458	7,841,065
販売費及び一般管理費	416,046	443,611
営業利益	354,531	352,085
営業外収益	63,356	97,411
営業外費用	27,200	18,425
経常利益	390,687	431,071
特別利益	120,000	—
特別損失	—	22,464
税引前中間純利益	510,687	408,607
法人税、住民税及び事業税	206,278	201,327
法人税等調整額	10,702	△ 11,863
中間純利益	293,707	219,143

会社情報

会社概要（平成19年9月30日現在）

商号	フジプレアム株式会社 Fujipream Corporation（英）
本社所在地	兵庫県姫路市飾西38番地1
設立	昭和57年4月14日
代表者	代表取締役社長　松本實藏
資本金	2,000百万円
事業内容	PDP用光学フィルター関連事業 光学製品関連事業 太陽光発電関連事業 生産技術システム関連事業　他
従業員数	467名（連結・臨時雇用含む）
営業所及び工場	本社 姫路工場 播磨テクノポリス光都工場／研究所 東京オフィス
連結対象となる子会社	フジサンエナジー株式会社（設立　平成13年4月） 上海不二光学科技有限公司（設立　平成15年9月） フジプレアム商事株式会社（設立　平成18年6月） イマクル株式会社（設立　平成15年10月）
主要取引銀行	三菱東京UFJ銀行、みずほ銀行

取締役及び監査役（平成19年6月28日現在）

代表取締役社長	松本　實藏
代表取締役副社長	松本　守雄
取締役副社長	田頭　未徳
専務取締役	原　一雄
常務取締役	牛尾　哲之
取締役	松本　春代
取締役	大川　拓志
取締役	池田　尊士
取締役	松本　倫長
取締役	澁谷　尚
取締役	山本　良徳
取締役	石見　健三
取締役	藤田　和也
取締役	片岡　智彦（社外）
常勤監査役	松本　毅
監査役	杉山　正幸（社外）
監査役	福田　雄二（社外）

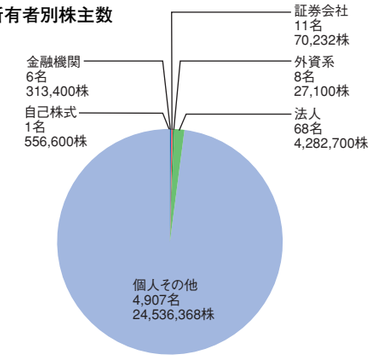
株式情報

株式の分布状況（平成19年9月30日現在）

会社が発行する株式の総数	105,000,000株
発行済株式の総数	29,786,400株
株主数	5,001名

大株主の状況（平成19年9月30日現在）

松本實藏	15,130,700株
松本庄藏	1,854,000株
東レ株式会社	1,560,000株
旭硝子株式会社	936,000株
リンテック株式会社	936,000株
フジプレアム株式会社	556,600株
ジェイアンドエム株式会社	475,500株
松本倫長	408,300株
松本春代	360,000株
松本守雄	330,000株

株式分布状況（平成19年9月30日現在）

■所有者別株主数